



Title	センター長就任にあたって
Author(s)	宮原, 秀夫
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1995, 96, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66092
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

センター長就任にあたって

宮 原 秀 夫

本年4月より前センター長 寺田浩詔先生の後を受けましてセンター長を仰せつかることになりました。本センターはこれまで歴代センター長はじめ学内外の関係各位のご協力により発展を続け、昨年25周年を迎えることができました。私も微力ではありますが、センターの一層の発展に寄与できるよう、皆様からのご支援を頂きながら頑張りたいと思っております。

現在、センターは年々多様化するユーザの要求に答えられるよう、従来の大型汎用機、スーパーコンピュータの他に、UNIXワークステーション、画像処理専用マシンなどをそろえる構成をとっております。さらに、昨年度に高速キャンパスLAN (ODINS) が完成し、研究室端末からセンターマシンに高速アクセスが可能となり、それまで懸案であったキャンパス間における利用格差を無くすることができました。このようにハードウェアシステムは完備しつつありますが、データベース、ユーザソフトウェアなどのコンテンツ面においてはいまだ不十分だと言わざるを得ないように思います。もともと大学にはコンテンツ作成の潜在的な能力があるにも拘わらず、それが十分に生かされていません。今後当センターが中心となってコンテンツ作成のノウハウを蓄積し、技術的支援を行い、そこから生まれるコンテンツを多くのユーザが利用できるように維持管理する、いわゆる情報センター機能を持つことが大切だと考えております。この仕事は、特に大学図書館および情報処理教育センターなどと連携して行っていく必要があると考えます。

また、ODINSにより学内のワークステーション、パーソナルコンピュータなどがネットワークで接続され、さらにセンターを介して世界的広がりを持つインターネットに接続されるようになりました。学内において受発信される情報はセンターを介して行われており、センターはすでにネットワークの運営管理を行っております。今後このネットワーク利用が進むにつれて、この役割はますます増大し、センターの重要な機能の一つになると考え、この機能を拡充して行きたいと思っております。

このように、現在センターが抱える問題は安易ではありませんが、できる限り努力していきたいと考えておりますので、今後ともユーザおよび関係各位の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。